様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	製品・技術開発による事業化支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連分野の産業化を促進するため、県内のバイオ関連企業等が有する技術等の事業化に向けた技術開発等を支援する。	県	健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援等		
		支援件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】		関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	186,384	169,771

予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	162,876

令和5年度活動内容

県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援した。

令和6年度活動計画

県内バイオ関連企業による製品化・事業化を目指す技術開発等の事業を補助金にて支援する。

活動指標名	支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内バイオ関連企業が実施する製品化・事業化等に向けた技術開発等7件の事業を補助金で支援した。
	－	8件	7件	３件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「健康・医療・バイオ関連分野の実用化支援件数」の目標値「３件」に対し、実績値「７件」であることから、順調と判断した。各企業が実施する技術開発等を支援したことで、事業化に向けた取組を促進できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容（資金などの配分）や事業の継続等について評価したうえで事業を実施する。	外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容（資金などの配分）や事業の継続等について評価し事業を実施した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題に対し、適切な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる支援が必要である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を整理し、有識者による必要な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる取組を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	健康食品ブランド力強化		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県産健康食品のブランド力を強化し販路拡大等を図るため、沖縄県独自の認証制度のプロモーションや機能性食品の開発支援、県産素材のエビデンス調査・活用支援等を行う。	県	機能性食品開発等の支援		
		エビデンス活用件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	健康食品ブランド力強化普及支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,858	23,748

予算事業名	健康食品ブランド力強化普及支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,863

令和5年度活動内容

認証制度のプロモーションや機能性食品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンスの活用支援を実施した。

令和6年度活動計画

認証制度のプロモーションや機能性食品開発のハンズオン支援、県産素材のエビデンスの活用支援を実施する。

活動指標名	エビデンス活用件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援で当事業にて作成したエビデンスを５件活用した。
	3件	5件	5件	３件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「エビデンス活用件数」の目標値「３件」に対し、実績値「５件」であることから、順調と判断した。認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援を実施することで県産健康食品のブランド力強化につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
展示会出展や健康関連団体との連携等を実施し認証制度のプロモーション活動を強化する。引き続き、認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援、県産素材のエビデンス活用支援を実施する。	プロモーション活動を強化し、認証制度申請および機能性表示食品届出に関する支援、県産素材のエビデンス活用支援を実施した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	プロモーション方法の改善や一体となった取組を進めるために認証企業間の情報共有や連携が必要である。また、商品開発のハンズオン支援により認証商品を増やす必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	業界・消費者等へ認知度普及率や年代別普及率などを調査し、より効果の高いプロモーションを検討し、実施する。また、WOJ認証制度申請や県産素材のエビデンス活用支援を強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○医薬品、機能性食品等の研究開発の推進やバイオベンチャー企業等の集積
主な取組	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び沖縄バイオ産業振興センターの運営		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・本県の地域特性や生物資源を生かした医薬品、機能性食品等の研究開発を推進し、バイオ・医療分野の高度化・多様化するニーズに対応するバイオベンチャー企業等の集積に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターおよび沖縄バイオ産業振興センターの施設、設備を適切に管理・運営するとともに、バイオ関連企業の研究開発や研究成果の事業化、事業拡大を支援する。	県	研究室及び研究機器の貸与、入居企業へのハンズオン支援		
		レンタルラボ提供室数（水回りが整備された室数）（内訳）		
		36室	38室（新規2室、継続36室、累計38室）	40室（新規2室、継続38室、累計40室）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	委託	47,075	55,648	

令和5年度活動内容

16室（全16室、全室水回り整備有）に入居があった。また、148件の相談等に対応した。

予算事業名	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター事業・管理運営事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	61,049	

令和6年度活動計画

入居は16室、相談等は160件に対応する。

予算事業名	沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	
県単等	委託	19,248	29,494	

令和5年度活動内容

県が３部屋、入居企業が１部屋、計４部屋の新規水回り整備を実施した。入居は25室、相談等は145件に対応した。

予算事業名	沖縄バイオ産業振興センター事業・管理運営事業		
R6年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	27,669	

令和6年度活動計画

新規２部屋の水回り整備を実施し、入居は27室、相談等は160件に対応する。

活動指標名	レンタルラボ提供室数（水回りが整備された室数）（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		バイオセンターは施設設備や研究機器の修繕12件（19,733千円）実施。振興センターは施設設備の修繕７件（14,695千円）および３部屋の水回り整備（13,600千円）を実施した。
	-室	35室	39室	38室（新規２室、継続36室、累計38室）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
令和５年度、新たに４部屋の水回り整備を振興センターにて実施（内１部屋は入居企業が自社整備）したことで、水回りが整備された室数はバイオセンターと合わせて全39室となり、活動目標値を上回った。水回りを整備することでバイオ関連企業から入居希望の問い合わせも増えており、水回り整備有の部屋はほぼ入居が決まっている。
（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○　県債を活用するなど、財源確保に工夫を図りながら、水回り整備を進める。	○　県債を活用することで計画的に水回り整備を進めた。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	バイオ関連企業の研究開発推進および集積に取り組むため、水回りが整備されていない居室には、研究開発を行うために必要な水回り整備を進める必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
① 執行体制の改善	県債を活用するなど、財源確保に工夫を図りながら、水回り整備を進める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	ネットワークの構築		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、バイオコミュニティが地域一体となって研究成果の情報発信や販路開拓等に取り組み、新たな事業や研究のマッチングを促進する。	県,事業者,大学等	県内外のバイオ関連ネットワークの構築		
		会議等の開催又は参加件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオコミュニティ運営事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	10,366	9,166

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

県内外の関係機関と連携を強化し、ネットワークを通じた情報発信、企業マッチング、事業化支援等を実施し、参画機関の課題解決に取り組んだ。

令和6年度活動計画

県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、バイオ関連産業の振興につなげる。

活動指標名	会議等の開催又は参加件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		全国のバイオコミュニティ関係者の会議及び県外の関係機関との意見交換会議の計４件に参加し、沖縄バイオコミュニティ参画機関の情報発信および関係機関との連携を強化した。
	-件	4件	4件	４件（８件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内外のバイオ関連ネットワークに係る会議等の開催又は参加件数」の目標値「４件」に対し、実績値「４件」であることから、順調と判断した。県外の関係機関に対し、情報発信および関係機関と連携したことで、参画機関の課題解決のためのネットワークを構築でき、事業化支援の推進につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
沖縄バイオコミュニティの連携強化、課題解決の促進のため、毎年１回以上連絡会議等を実施する。	沖縄バイオコミュニティ参画機関に参加を呼びかけ、連携強化、課題解決の促進を目的とした第１回目の総会を開催した。参画機関からは62名が当日参加し、バイオコミュニティ・企業・大学等からの取組紹介やパネルディスカッションを実施し、参画機関同士の情報交換および交流を図った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	沖縄バイオコミュニティ参画機関の連携強化を図るためのコミュニティ連絡会議等を継続して実施する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	沖縄バイオコミュニティ参画機関の連携強化、課題解決および事業化促進のため、毎年１回以上連絡会議等を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	地域一体となった研究成果等の情報発信		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、バイオコミュニティが地域一体となって研究成果の情報発信や販路開拓等に取り組み、新たな事業や研究のマッチングを促進する。	県,事業者,大学等	県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信		
		情報発信件数（ピッチコンテスト、展示会への参加等）（累計）		
		3件	6件（9件）	6件（15件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオコミュニティ運営事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	10,366	9,350

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

バイオコミュニティとして、情報発信、企業マッチング、事業化支援等を実施し、参画機関の事業化等に関する課題解決に取り組んだ。

令和6年度活動計画

県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、参画機関の事業化等に関する課題解決に取り組む。

活動指標名	情報発信件数（ピッチコンテスト、展示会への参加等）（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		展示会１件、投資家等へのプレゼン（ピッチコンテスト）２件に参加し、県内外の関係機関に対してバイオコミュニティ参画企業の情報発信を行った。
	-件	8件	11件	６件（９件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
「県内バイオ関連企業・大学等の技術・研究成果等の情報発信件数」の目標値「６件」に対し、実績値「11件」であることから、順調と判断した。地域一体となった情報発信により、県内外の関係機関と連携を強化することができ、バイオ関連企業の事業化の推進につながった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
参画企業にアンケートや聞き取りを行い、課題や企業の成長段階・分野ごとに情報を収集・整理することで、情報発信に係る取り組みの改善を図る。	７月に企業向けにアンケートを実施し、企業課題を抽出した。特に人材不足や資金調達先の確保等が課題に挙げられていたため、多くの企業や大学等が参加する展示会及びピッチコンテストにて企業情報の発信を行った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	バイオコミュニティ参画企業の情報を効果的に発信するため、企業ごとの共通課題の把握が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	参画企業にアンケートを行い、企業の成長段階・分野ごとに情報を収集・整理することで情報発信に係る取り組みを改善する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究開発から事業化までのバリューチェーン構築
主な取組	経営のハンズオン支援		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・県内において、バイオ関連企業や研究機関等とのネットワークを構築し、地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り組みます。国内外のバイオ関連ネットワークと連携を図ることで、人材及び民間投資を誘引するとともに、研究開発から事業化まで一連の流れの中で価値を生み出すバリューチェーンの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や販路開拓、人材確保等の経営面での支援を行い、企業が抱える様々な経営課題の解決に取り組む。	県	県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援		
		経営支援件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	40,284	35,063

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

各企業の成長段階に合わせて、販路開拓支援や資金調達等の経営に関する課題解決支援を行った。

令和6年度活動計画

バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた経営に関する課題解決支援を行う。（資金調達、人材確保等の支援）

活動指標名	経営支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和４年度より継続して支援企業14社に、県内外の関係機関に対して情報発信の支援を行ったほか、企業マッチング支援、事業・資金計画作成支援等を実施し、企業経営の改善につながった。
	-件	17件	14件	10件（20件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業へ事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「10件」に対し、実績値「14件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
令和５年度の支援開始時に、ヒアリングや面談等を行い、支援企業の要望等を把握し、効果的な支援の実施に取り組む。	支援開始時に支援企業に対して面談を行い、個社ごとの支援計画を策定した。支援計画に沿った支援を実施し、要望のある支援企業に対しては専門家を活用し、適切な支援となるよう、適宜支援計画の見直しを行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	支援企業の成長段階に応じた支援内容および課題に応じた支援方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	支援開始時に、ヒアリングや面談を実施し、支援企業の課題等を抽出し、成長段階に応じた効果的な支援の実施に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	研究開発を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
本県の健康・医療関連産業におけるバイオデータの活用促進のため、バイオテクノロジーAI/IT技術等の情報科学技術を活用するための人材育成を行う。	県	バイオインフォマティクス人材育成の講座・研修の開催		
		講座受講者数（累計）		
		30人	30人（60人）	30人（90人）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	健康・医療データサイエンス人材育成事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,763	23,343

予算事業名	健康・医療データサイエンス人材育成事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,909

令和5年度活動内容	令和6年度活動計画
人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施した。	人材育成プログラムによる講座や課題研究を実施する。

活動指標名	講座受講者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		受講者は延べ人数192名であった。入門コースは72名、中級コースは78名、合格コースは42名であった。
	76人	50人	192人	30人（60人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「講座受講者数」の目標値「30名」に対し、実績値「192名」であることから、順調と判断した。講座の実施により、バイオデータの活用ができる人材の育成につながった。今回からオンデマンド配信を取り入れ、受講者の都合に合わせた受講が可能となったことから実績値の増加となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
事業の取組について周知活動を行う。 受講者へのアンケート調査を引き続き実施し、本講座への要望や課題を抽出し、今後の講座の改善に取り組む。	事業の取組については、パンフレットやホームページ等での周知に加え、医療現場や産業現場において蓄積が進むバイオ関連データの解析・加工ができる高度な技術者の育成を目指すために、シンポジウムを開催した。また、受講者へのアンケート調査の結果から本講座の各コースそれぞれに要望や意見が挙げられ、課題が明確化された。次年度は、課題解決に向けて取り組む。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アンケートやヒアリングの結果から企業の要望する人材レベルが幅広く、ニーズに合った講座が必要である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	これまでに集積したコンテンツを活用・発展して、受講者レベルに合わせた講座内容展開、実技講習の多様化に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	①企業等による研究開発、販路開拓、人材育成等の促進
			施策の小項目名	○研究や事業化を担う人材の育成
主な取組	事業化を担う人材育成の講座・研修等		対応する成果指標	バイオベンチャー企業数
施策の方向	・大学等と連携して講座や技術研修等を実施し、バイオ・医療関連産業等において求められる研究人材や事業化を担う人材等の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業経営に必要な人材育成（講座や技術研修等）に取り組む。	県	経営に関するテーマの人材育成の講座・研修の開催		
		講座受講者数（累計）		
		20人	20人（40人）	20人（60人）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	40,284	35,063

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

支援企業に対して、各企業の成長段階に即した経営人材育成に関するテーマのセミナーを実施した。

令和6年度活動計画

各企業における必要性の高い経営課題に関して、課題解決に必要な経営ノウハウに関するセミナーを実施する。

活動指標名	講座受講者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		支援企業に対して、経営に関するテーマのセミナーを２回実施し、21名が受講した。
	-人	70人	21人	20人（40人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「経営に関するテーマの人材育成の講座受講者数」の目標値「20名」に対し、実績値「累計21名」であることから、順調と判断した。経営人材育成に必要な知識を蓄えることで、各企業における企業経営の改善につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
各支援企業の要望に合わせた支援について検討するほか、支援企業の要望を確認し、課題解決につながるセミナーを実施する。	令和４年度に実施した経営に関するテーマのセミナーと連携して、企業の事業化・事業拡大に必要なセミナーを実施した。企業からは一定の評価があり、経営戦略見直しのきっかけとすることができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	企業の要望や関心にばらつきがあるため、経営支援プログラムにおけるセミナー等の内容について検討が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	個社の成長段階等に合わせたセミナーを企画し、企業の課題解決につながる支援を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○研究開発や臨床試験等の支援
主な取組	先端医療技術の実用化に向けた技術開発支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・再生医療や遺伝子治療等の先端医療分野において、これまでの研究開発の成果を生かし、また、国内外の動向を注視しながら産業利用等の観点を踏まえ、実用化を見据えた研究開発や臨床試験等の支援に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオテクノロジーを活用した先端医療分野の産業化を促進するため、県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等の支援を行う。	県	先端医療技術の実用化に向けた技術開発等支援の実施		
		研究開発支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	186,384	169,771

予算事業名	バイオ関連産業事業化促進事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	162,876

令和5年度活動内容

県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等を支援した。

令和6年度活動計画

県内のバイオ関連企業等が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等を支援する。

活動指標名	研究開発支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内バイオ関連企業が実施する先端医療技術の実用化に向けた技術開発等３件の事業を補助金で支援した。
	―	3件	3件	４件（８件）	75.0%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

先端医療技術の実用化に向けた「研究開発支援件数」の目標値「４件」に対し、実績値「３件」であったことから進捗はおおむね順調と判断した。各企業が実施する先端医療技術の技術開発等を支援したことで、実用化に向けた取組を促進できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容（資金などの配分）や事業の継続等について評価したうえで事業を実施する。	外部有識者等から構成される評価委員会において、必要な支援内容（資金などの配分）や事業の継続等について評価したうえで事業を実施した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題に対し、適切な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる支援が必要である。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	支援する企業の製品化および事業化のための技術開発上の課題を整理し、有識者による必要な助言等を行い、製品化および事業化を加速させる取組を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業（先端医療分野）の事業化・事業拡大を促進するため、支援機関による資金調達や人材確保等の経営面での支援を行い、企業が抱える様々な経営課題の解決に取り組む。	県	先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援の実施		
		経営支援件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	40,284	35,063

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

企業の成長段階に合わせて、販路開拓の支援や資金調達等の経営に関する課題解決支援を行った。

令和6年度活動計画

バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、個々の企業の実情に合わせた、経営に関する課題解決支援を行う。（資金調達、人材確保等の支援）

活動指標名	経営支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		支援企業６社に情報発信の支援を行ったほか、企業への面談を通じた事業・資金計画作成支援や課題解決支援（専門家派遣等）を実施したことで、企業経営の改善につながった。
	-件	6件	6件	４件（８件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「先端医療の事業化・事業拡大に向けた経営支援件数」の目標値「４件」に対し、実績値「６件」であることから、順調と判断した。各企業の経営課題に則した支援を実施したことで、企業経営の改善や事業化の加速につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
各支援企業の要望に合わせた支援について検討するほか、支援開始時期に、ヒアリングや面談等を行い、効果的な支援の実施に取り組む。	支援開始時に支援企業に対して面談を行い、個社ごとの支援計画を策定した。支援計画に沿った支援を実施し、要望のある支援企業に対しては専門家を活用し、適切な支援となるよう、適宜支援計画の見直しを行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	支援企業の成長段階に応じた支援内容および課題に応じた支援方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	支援開始時にヒアリングや面談を実施し、支援企業の課題等を抽出し、成長段階に応じた効果的な支援の実施に取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	②先端医療分野における実用化の促進
			施策の小項目名	○経営課題の解決支援
主な取組	先端医療関連の情報発信		対応する成果指標	臨床試験等実施件数（累計）
施策の方向	・事業化及び事業拡大に向けた経営課題の解決等に向けても取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
バイオ関連企業（先端医療分野）が有する技術等の事業化を促進するため、先端医療分野における県内バイオ関連企業の取組について情報発信する。	県	先端医療関連の研究成果、取組等の情報発信		
		報告会の開催件数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	バイオ関連企業経営支援事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	40,285	33,751

予算事業名	バイオ関連企業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容	令和6年度活動計画
先端医療分野の技術等の事業化を促進するため、企業の技術開発の状況等を広く情報発信するための機会提供を支援した。	先端医療分野の技術等の事業化を促進するため、企業の技術開発の状況等を広く情報発信するための機会提供を支援する。

活動指標名	報告会の開催件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内外の関係機関に対して情報発信する機会を提供したことで、技術開発の連携や販路開拓等に資する支援ができた。
	―	1回	1回	１回（２回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

先端医療関連の研究成果、取組の情報発信のための「報告会の開催件数」の目標値「１回」を達成したため、進捗状況は順調と判断した。今後の技術開発の連携や事業化を見据えた販路開拓等の推進につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
企業の技術開発等の段階に応じて、情報提供する対象者を検討し、適切な情報発信の機会を継続的に提供できるよう支援する。	企業の技術開発等の段階に応じて、情報提供する対象者を検討し、適切な情報発信の機会を継続的に提供した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	さまざまな機会をとらえて行うことが効果的であるため、情報発信の機会を増加させる取組が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	さまざまな機会をとらえて継続的に県外イベント等での情報発信の機会を提供する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	バイオ関連施策等の情報発信		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県が推進する健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、企業等の研究成果の情報発信に取り組み、産学医の連携を構築する。	県	県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信		
		情報発信件数（累計）		
		3件	6件（9件）	6件（15件）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオコミュニティ運営事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	10,366	9,350

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

県内外のイベントに継続的に参加し、企業等の研究成果の情報発信および関係機関との連携体制の構築に取り組んだ。

令和6年度活動計画

地域一体となった研究成果等の情報発信を行い、共同研究推進等に向けたマッチング等を実施する連携体制の強化に取り組む。

活動指標名	情報発信件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		展示会２件、研究発表（ピッチ）のイベント１件に参加し、県内外の関係機関に対して、情報発信した。
	-件	3件	6件	６件（９件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「県内バイオ関連企業、関連施策の情報発信件数」の目標値「６件」に対し、実績値「６件」であることから、順調と判断した。県内外の関係機関と連携を図り、企業の事業化の加速につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
健康・医療分野のイベントで研究発表を行い、事業化・事業拡大につながるよう企業に対して支援を実施する。 県内外の各拠点とのネットワークを構築し、産学医が連携できるようマッチング支援体制の強化を図る。	健康・医療分野の展示会および研究発表（ピッチ）のイベントにて研究発表を行ったことで、県外企業・金融機関との商談が実現した。また、展示会にて県外の拠点とのネットワークを構築し、約200機関の企業や大学等が参加するマッチングイベントに参加でき商談につながった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	健康・医療分野の関係者が多く参加するイベントへの参加機会を創出する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	健康・医療分野のイベントで研究発表を行い、事業化・事業拡大につながるよう企業に対して情報発信支援を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	県外の関係機関との連携		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
健康・医療分野のバイオ関連企業の事業化・事業拡大を促進するため、各地域のバイオコミュニティとのネットワーク構築に取り組み、他地域と連携した企業マッチングや共同研究の推進を図る。	県	バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携		
		連携機関数（内訳）		
		6機関	8機関（新規2機関、継続6機関、累計8機関）	10機関（新規2機関、継続8機関、累計10機関）

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	バイオコミュニティ運営事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	10,366	9,350

予算事業名	バイオ関連産業振興支援事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	34,216

令和5年度活動内容

各地域のバイオコミュニティとの連携強化を図り、県外イベントへの参加や企業マッチング機会の創出に取り組んだ。

令和6年度活動計画

県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、県外イベントへの参加や企業マッチング機会の創出に取り組む。

活動指標名	連携機関数（内訳）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		地域バイオコミュニティ（５機関）、グローバルバイオコミュニティ（２機関）と継続して連携を強化したほか、新規に県外の関連機関（１機関）と連携を構築した。
	－機関	7機関	8機関（新規１機関、継続７機関、累計８機関）	８機関（新規２機関、継続６機関、累計８機関）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「バイオ産業拠点、バイオコミュニティ等との連携機関数」の目標値「８機関（累計）」に対し、実績値「８機関（累計）」であることから、順調と判断した。県内企業のマッチング及び共同研究を推進し、企業の事業化加速につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
他地域のバイオコミュニティと連携を密にし、企業連携・資金確保等を目的としたイベントを実施する。	県外のバイオコミュニティ参画機関と連携を強化し、事業拡大を目的としたマッチングイベントに県内企業10社が参加し、情報発信や商談を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	事業拡大のために他地域のバイオコミュニティやバイオ関連産業拠点と連動したイベント実施が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	他地域のバイオコミュニティやバイオ関連産業拠点との連携を密にし、企業連携・資金確保等を目的としたイベントを実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(5)-イ	バイオテクノロジーを活用した産業化の促進	施　策	③健康・医療分野を軸とした産業拠点の形成
			施策の小項目名	○関係機関との連携や産業拠点の整備
主な取組	拠点整備計画等の策定		対応する成果指標	バイオ関連企業等の企業数
施策の方向	・高付加価値な製品開発やサービス提供の可能性が期待される健康・医療分野のバイオ関連産業については、バイオベンチャー企業をはじめ研究機関や医療機関等と連携し、IT・物流等の周辺産業も含め、研究開発から製造販売まで一連で事業展開が可能な機能等を有した産業拠点の整備に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
健康・医療分野を軸とした新たな産業拠点の形成に向けた拠点構想や基本計画を策定するため、調査等をとおして拠点のあり方や具体的な整備内容・手法等について検討する。	県	拠点整備計画等の策定		
		拠点構想の策定	基本計画策定に向けた調査	
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	商工労働部ものづくり振興課　【　098-866-2337　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	健康・医療・バイオ関連産業拠点形成推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額
県単等	委託	9,964	10,583

予算事業名	健康・医療・バイオ関連産業拠点形成推進事業	
R6年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	21,731

令和5年度活動内容

新たな産業拠点に関する基本計画を策定するため、これまでの調査結果を踏まえ、より具体的な整備内容や整備手法等について調査をとおして検討した。

令和6年度活動計画

新たな産業拠点の形成に向けて、中核となる施設の整備方針、整備スケジュール等を含めた基本計画を策定する。

活動指標名	拠点構想の策定		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		新たな産業拠点に関する調査を実施し、拠点を形成する場所の条件検討および関連企業や有識者へのヒアリングをとおして、具体的な拠点の形成場所の検討や実現可能性を踏まえた整備手法等を整理した。
	―	実施	実施	実施		順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値である基本計画策定に向けて調査し、拠点を形成する場所の条件整理や実現可能性を踏まえた整備手法の検討が完了したため、進捗は順調と判断した。令和６年度以降は基本計画の策定に向けてより具体的に検討を進める。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
他地域で実施されている産業用地整備などの動向を踏まえ、新たな産業拠点に必要な機能を検討する。また、実施計画の策定にむけて、各種法規制や費用面で実現可能性の高い計画を検討する。	県内の他地域で実施されている産業用地整備などの動向を踏まえ、新たな産業拠点に必要な機能を検討した。また、実施計画の策定にむけて、拠点候補地の選定に関する情報整理や費用面で実現可能性の高い手法を検討した。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	拠点の整備に向けてより実現性の高い整備手法を検討するにあたり、関連する企業等へヒアリングし、より多くのニーズ等を踏まえた基本計画を策定する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	拠点の整備に向けてより実現性の高い整備手法を検討するため、関連する企業等へヒアリングし、より多くのニーズ等を踏まえた基本計画を策定する。